

第18回

日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

Japanese Society of Perinatal Mental Health



昔にまなび、未来につなぐ 母性のちから
～今、日本の母を支える～

会期

ライブ配信：2022年10月22日(土)～23日(日)

オンデマンド配信：2022年11月1日(火)～12月1日(木)

大会長

常盤 洋子

新潟県立看護大学・大学院教授（母性看護学・助産学）、
群馬大学名誉教授

開催
方法

オンライン開催
(ライブ+オンデマンド)

一般演題募集期間：2022年5月15日(日)～7月19日(火)
事前参加申込期間：2022年6月1日(水)～9月20日(火)

<https://procomu.jp/pmh2022/>



【会長講演】 母性を支える看護のちから

【招聘講演】 出産の歴史人類学からみえてきた「母性のちから」
—誕生・子育てにかかわる人々との協働から考える—
鈴木 七美（国立民族学博物館 グローバル現象研究部 教授）

【特別講演】 臨床に活かす「サークルオブセキュリティ（安心感の輪）」
安藤 智子（筑波大学 人間総合科学研究科 教授）

【シンポジウム1】 今の時代に求められている、あるいは、発揮される、父性のちから

【シンポジウム2】 現代の母親・家族への支援～家族支援の現場から～

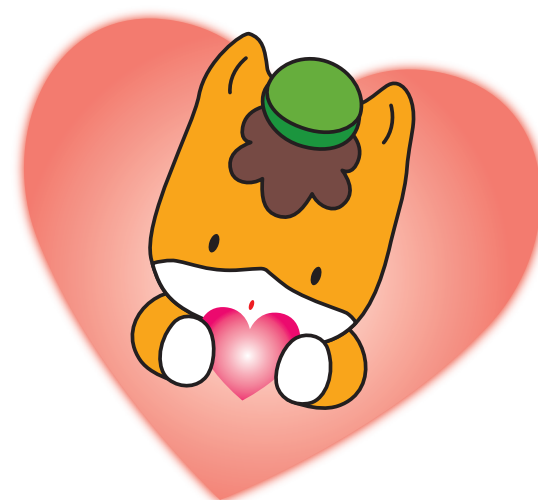
【シンポジウム3】 “発達障害をもつ女性”の育児支援～ASD・AD/HDに気づき、支援を考える～

【ワークショップ】 母子のための地域包括ケアシステムを推進しよう

【教育セミナー】 【一般演題】

市民公開シンポジウム(無料)
のみ参加する方はこちら→

【市民公開シンポジウム】 知って！使って！ママがこころを元気にするコツ



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」
2021-100335



後援：群馬県、群馬県医師会、群馬県看護協会、群馬大学大学院保健学研究科、新潟県立看護大学(五十音順)

学会運営担当

株式会社プロコムインターナショナル 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階
TEL:03-5520-8821 FAX:03-5520-8820 E-mail:pmh18@procom-i.jp